

事業報告書

第3期

自 平成23年9月1日
至 平成24年8月31日

特定非営利活動法人

瀬戸内乳腺事業包括の支援機構

岡山市中区高屋343番地岡山第一病院内

平成24年度 第3期事業報告書

平成23年9月1日から平成24年8月31日

1. 入会状況について

正会員：62名

賛助会員（個人）：5名

賛助会員（団体）：4団体（平成24年8月31日現在）

2. 理事会開催

平成23年9月10日に第4回理事会を開催

平成24年6月9日に第5回理事会を開催

3. 総会開催

平成24年6月9日に第4回総会を開催

4. 事業報告

4.1 事業の成果

本法人は乳腺疾患の診療従事者が行う教育と研究に関する事業を包括的に支援し、地域医療の発展と、市民における健康の維持と増進に寄与することを目的として設立された。本法人は目的達成のため、①専門医育成支援事業 ②癌登録支援事業 ③臨床研究支援事業 ④組織バンク支援事業 ⑤乳腺疾患に関わる広報事業を実施する。

第3期の事業の成果を事業毎に以下に記載する。

① 専門医育成支援事業

本事業は教育・研修委員会、ならびに本事業年度より新設された学術委員会が中心となり事業推進を行っている。

教育・研修委員会実施事業

・平成24年6月9日の総会時、Evidence Based Medicine の実践を学ぶため group PECO 勉強会を開催し、約20名の会員ならびに初期研修医が参加した。

・同総会時に国立がん研究センター中央病院乳腺科・腫瘍内科副科長 木下貴之先生を招聘し、教育講演「高度医療下を実施する早期乳がんラジオ波熱焼療法に関する多施設臨床研究について」を実施した。

・次年度より乳がん診療および学術活動を奨励し、乳癌学会専門医育成

の一環として、若手乳腺外科医の乳癌診療に対する情熱を評価する目的で、若手奨励賞を設ける若手奨励賞を設けることを決定した。

・若手医師の教育を目的に、平成24年10月6、7日に愛媛県松山市で Autumn Camp を開催する。

学術委員会実施事業

・乳がん診療に関する最新情報の共有化を目的とした、web (Evernote)を利用した情報サイトを運用中である。

・乳がんに関する学術研究を奨励し、当機構から日本ばかりでなく世界へエビデンスを発信することを奨励するために本研究奨励賞を設けることを決定した。

② 癌登録支援事業

乳癌登録委員会を中心に本事業を推進中である。疫学情報収集のため、参加施設共有の乳癌登録フォーマット『瀬戸内乳癌登録』を作成し、平成23年4月1日から運用を開始した。平成25年1月、第1回の同登録情報の収集と解析を実施する予定である。

③ 臨床研究支援事業

臨床試験委員会を中心に本事業を推進中である。現在、「転移乳癌に対するゲムシタビン+トラスツズマブ併用療法の有用性を検討する第II相臨床試験」、「エキセメスタンもしくはアナストロゾール抵抗性閉経後内分泌感受性 HER2 陰性転移乳癌に対するレトロゾールの有用性に関する第II相臨床試験」の2試験を進行中である。次年度は、さらに3つの新規臨床研究を開始予定である。

④ 組織バンク支援事業

臨床研究事業の進捗に伴い、組織バンクの設立に必要な体制を整えていく予定である。

⑤ 乳腺疾患に関わる広報事業

広報委員会、学術委員会を中心に事業推進中である。

広報委員会実施事業

・本法人の活動を広く公開するため、ホームページを開設した (<http://setouchi-bp.com/index.html>)。

・平成23年秋、ならびに平成24年夏に会員ならびに関連医療機関に

に向けた News letter を発刊した。

学術委員会実施事業

・乳がん関連情報を広く市民に公表するため、「患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 年版」を要約し、ホームページ上で公開した。

⑥ その他

乳がん検診の啓発，検診受診率向上への活動，マンモグラフィ講習会の開催，地域検診業務の援助や医師派遣などを目的に，次年度より新たに乳がん検診委員会の設立が認められ、今後活動を展開していく予定である。

4.2事業の実施に関する事項

① 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時/ 開始日	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	支出額 (千円)
専門医育成 支援事業	総会ならびに研修医ならびに乳腺専門医取得を対象とした乳癌研究会の主催	平成24年6月9日	岡山大学病院	10名	乳腺専門医の取得を目指す医師・看護師・薬剤師・コメディカル 約56名	33
癌登録支援 事業	乳癌共用データベースの構築による疫学情報収集システム『瀬戸内乳癌登録』の運用開始	平成23年4月1日より 継続運用中	参加各医療施設	約40名	将来的には、乳癌の疫学情報を必要とする不特定多数の市民	57
臨床研究支援 事業	現在第2相臨床試験を3つ、大規模コホート研究1つを進行中である	平成22年6月より 継続進行中 である	参加各医療施設	試験の計画に約10名、試験の実施に約60名が 従事	将来的には、不特定多数の転移乳癌患者の受益となる	135
組織バンク 支援事業	本年度は該当事業なし					0

② その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時/ 開始日	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
乳腺疾患に関わる広報事業	乳腺疾患に関する最新情報を広く市民に公表することを目的にホームページを作成中である。	平成24年8月にホームページを公開した	Web上で公開	広報委員会メンバー5名、ならびに市民向け情報公開作成に関わる委員6名	不特定多数の市民	850

本法人の目的達成のため、次年度も引き続き事業を推進する予定である。

以上